

●ミニフォト

会心の初舞台



猿田彦の舞

山田ふれあい市で7月20日、こども神楽が行われました。こども神楽総社社中の小学生3人が半年間練習を重ね、猿田彦の命や事代主の命の舞を披露。初舞台とは思えない堂々とした舞に、訪れた観客は拍手喝采でした。

義民をしのぶ



全校児童でオペレッタを熱演

江戸時代に命を懸けて村人の暮らしを守った義民4人をしのぶ義民祭が、7月20日と21日に新本小学校で行われました。神事や児童によるオペレッタの披露、校庭での義民踊りに、訪れた人はいにしえに思いをはせていました。

復興への希望の光



幻想的で優しいあかりがとれる

セレーノ総社で7月28日、夏祭りが開催されました。ブルーシートを使ったコサージュやバッチづくりのワークショップを実施。真備町の竹100本で作った竹あかりも展示され、来場者は復興への思いを一つにしていました。

夏休みの思い出づくり



木のおもちゃを作る

2年ぶりの高間やまびこまつりが7月21日、高間キャンプ場で開催されました。市内の親子連れ約200人が参加。流しそうめんやアユの塩焼き・パン作り、仕事体験などで夏の思い出をつくっていました。

川の健康診断



どんな生き物がいるかな

7月27日、楨谷川で水辺の教室が行われました。参加した親子連れらは、きれいな水に生息するカワゲラやカゲロウ、トビケラなどの水中生物を採取。その後、池田分館で水環境の大切さについて学んでいました。

自己ベストを目指して



懸命に水をかく

市スポーツセンタープールで7月24日、学童水泳記録会が開催されました。記録会には、市内の全小学校から標準記録に達した約280人の児童が出演。自由形や平泳ぎ、リレーの各種目で練習の成果を発揮していました。

総社市への支援金 ありがとうございました

10億155万円

西日本豪雨に伴う支援金は8月1日までに、10億155万6913円（県からの義援金を含む）をお寄せいただいています。

温かい支援に心よりお礼申し上げます。全員のお名前を掲載するのが本意ではございますが、紙面の都合上100万円以上の寄付をいただいた個人・団体のみ掲載させていただきます。

■高額寄付者（7/5～8/1）
ギャラリー桜の木

【敬称略】

奥埜さん 100歳おめでとう



家族に祝福される奥埜さん

おくの奥埜千鶴子さん（井尻野）が7月13日に満100歳の誕生日を迎えられ、20日に市から記念品が贈られました。若いころから和裁が得意で、今でも裁縫ができる奥埜さん。長寿の秘訣は、多くの趣味をもつことだそうです。

朝の静けさの中で



背筋をのぼして

8月1日から5日にかけて、井山宝福寺で暁天座禅が行われました。毎年この時期に開催され、今年の参加者は約230人。早朝の厳かな雰囲気の中、参加者は座禅を組み、精神統一を図っていました。

脈々と受け継がれる交流

十日町市・やまて友好交流事業

7月27日から29日までの3日間、新潟県十日町市中条地区の小中学生34人が、山手地区を訪問しました。ホームステイをしながら、山手小学校児童と夏祭りや福山登山、桃の収穫などで親睦を深めました。

この交流事業は、旧山手村時代の平成9年に始まり、冬には山手地区側が十日町市を訪れ、雪原体験などを行う相互交流が続いています。



山手公民館での歓迎式（写真上）。初めての桃の収穫（写真右）



総社のフルーツが大変身

復興支援！そうじゃフルーツフェスタ

地元産の農産物の魅力を再発見してもらおうと、そうじゃフルーツフェスタが8月3日、サンロード吉備路で開催されました。

総社産の白桃と真備・総社産のブドウをふんだんに使った特製フルーツパフェを復興支援特別価格で提供。約900人が来場し、一口一口味わっていました。

東京のタカノフルーツパーラー フルーツクチュリエの森山登美男さんによるフルーツカット教室や、総社産の野菜・農産加工品などの直売、西日本豪雨のパネル展示も同時開催。訪れた人は、果物尽くしの1日に大満足の笑顔でした。



あまりのおいしさにうっとり（写真上）。森山登美男さんからフルーツカットを学ぶ（写真左）

手話でコミュニケーション



手話でのあいさつを実践

7月24日と31日、8月7日に親子手話教室が総合福祉センターで行われました。参加したのは市内の親子ら12人。簡単な手話のあいさつや指文字を学び、声を使わずに思いを伝える難しさを体験していました。

求む！若い力



DVDで企業を紹介

市内企業への積極的な就労を目的に7月24日、産業事情説明会が総合福祉センターで開催されました。25事業所が自社の事業をPR。参加した35人の高校生はさまざまな業種の企業を知り、仕事選びの参考にしていました。

雪舟さんになりきって



うちわに水墨画を描く

雪舟体験学習が8月2日、井山宝福寺で開催されました。市内の小中学生30人が参加。雪舟についての講話を聴き、座禅や水墨画などを体験しました。雪舟没後500年を記念して平成18年に始まり、毎年開催されています。